

## アンケート結果のご報告

9月9日の神楽公演では、昼公演ご来場者を対象に簡単なアンケートを実施しました。得られたデータを公開します。回収した枚数は、81枚。

- ① 目視でも女性来場者が多め、という印象でしたが、本公演は女性来場者によって支えられている、ことが推測できます。
- ② 公演開催の情報をどのようにして「入手したのか」ですが、「知人の薦め」、つまり知人からクチコミがトップでした。ウェブ、SNS系からの情報発信は効果がまだ発揮できていないことが推測できます。
- ③ 職業についての問いでは、主婦、無職が多いので、公演の客層ははっきりしています。この方々のご支援があってこそこの神楽公演企画です。
- ④ 年齢的には、60代、70代の方々が会場にお越しくくださったことが言えると思います。当日の天候、恵まれました。ご来場感謝です。

\*この公演は平日開催です。平日の昼公演にご来場が可能な方々を考えれば、年配者で、すでに退職され、女性層が多いということは、理解できます。そうした方々によって、昼公演はありがたいことに支えられています。夕公演になりますと、年配者が減ってきて、会社勤めの方や若い人たちの姿が目立ちました。ですが、夕公演ではアンケートを実施していないのでコメントできません。

土日開催を計画してもよさそうですが、さいたま芸術劇場の土日の会場使用料金は高く設定されており、私たちのバジェットでは、支払いが困難。したがって、シニア層の支持を得て、これまで平日公演が継続できた、と考えていいでしょう。シニア層の伝統芸能に対する関心と、シニア層が私たち学生スタッフの公演開催活動に対して、クチコミ支援があってこそ、第九回公演までたどり着いた、ということだと考えています。シニア層の旺盛な知的好奇心が神楽公演というものを下支えしている、そのようなことを改めて感じました。感想については、概ねですが、好評であったと思います。垣澤社中の熱演によって、ご来場された方々の満足度は高く、加えて垣澤瑞貴さんへのエールが多かったことも特筆されます。ご指摘事項については、スタッフとしても納得できるものでした。少しずつレベルを向上させているところですが、改善できない点もあると感じています。自己採点で、60点を越せば私たちにとって大成功。準備段階から、当日公演までの間に、ボランティア・スタッフに、怪我とか事故が発生しなければ、ボーナスポイント40点。ともあれフルマーク。

(文責 成城大学2年 馬場綾音)